

第 3 回 札幌市 避難場所 基本計画 検討委員会 概要

1 日時

平成 24 年 10 月 31 日（水） 10:00～12:30

2 場所

市役所本庁舎（札幌市中央区北 1 条西 2 丁目） 12 階 1～3 号会議室

3 出席委員

天野委員、安藤委員、一瀬委員、鎌田委員、佐々木委員、定池委員、田畑委員、永田委員、中村委員、成田委員、本田委員、森本委員、矢橋委員（欠席者なし）

4 主な会議内容

- (1) 災害時要援護者への配慮について
- (2) その他整備について
- (3) 運営方法について

5 委員からの主な意見

- ・（基幹避難所から半径 1.4 km の円を描いた地図を見て）丁寧に想定され、素晴らしいと思った。一方でこの円がかからないような地区は、学校に代わる避難場所を選定していただきたい。
- ・災害時に避難する場所として、イメージしやすい場所は、やはり小中学校だと思う。災害時のことだからこそ、避難先はシンプルに広報していくことが必要。
- ・冬季の一時避難場所は使えないことをはっきり示すことが必要。一時避難場所は集合場所的な存在で、いつときの避難場所であると言葉の定義を改めることが必要。
- ・学校の一室を災害時要援護者用という形でとらえていただければ、まずそこに手をかりて避難すればいいのかなという場所ができた。また、そこには便座も整備されるようですので配慮していただいていると思っている。
- ・女性が単独で避難してきた場合は配慮して欲しい。避難の期間にもよるが、長期化したときは、女性の人権ということも考えなければならない。